

アスリートに期待されるリーダーの役割

【はじめに】

リーダーと聞いて皆さんはどのような人物を思い浮かべますか。また、そのリーダーはどのようなタイプのリーダーでしょうか。一般的に監督やコーチといった指導者がリーダーとみなされることが多いと思いますが、チーム内には選手のリーダーも存在し、目標達成に向けて力を発揮することが期待されています。今回は選手のリーダー「アスリートリーダー」の主な役割を紹介します。

<p>①課題リーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド上を取り仕切るリーダー ・戦術においての意思決定やアドバイスを提供する 	<p>②社会的リーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド以外で主な役割を持つリーダー ・チームメイトの良好な関係づくりを促しチームの雰囲気向上に貢献する ・グラウンド以外でのチームメイト間の対立の解決を促す 
<p>③動機づけリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド上でチームメイトにモチベーションを与えるリーダー ・全力を出せるようにチームメイトを励ましたり、チームメイトの落ち込んだ気持ちを立て直す 	<p>④外的リーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームと外部の人々との関係を結ぶリーダー ・運営におけるチームの代表で外部とコミュニケーションが必要な時にこのリーダーが主導する 

図1 アスリートリーダーの役割

(Fransen et al.,2014 筆者加筆)

【アスリートリーダーとは】

アスリートリーダーと聞くと、キャプテンといった指導者から指名された役職を持った人物が思い浮かぶかと思えます。しかし、役職がないとリーダーになれないわけではありません。アスリートリーダーとは、「チーム内で公式または非公式の役割を果たし共通の目標を達成するためにチームメンバーに影響を与えるアスリート」と定義されています。つまり、役職の有無に関係なく誰でもリーダーになれるということです。

【アスリートリーダーの4つの役割】

前述したようにチームには役職を持った公式なリーダーだけでなく、非公式なリーダーも存在します。非公式なリーダーとは役職を持たずにチームにとって重要な役割を果たす人物のことです。例えば、グラウンド上でチームを引っ張るエースや、必要な場面でチームを盛り上げるムードメーカーがそれに当てはまるでしょう。そして、アスリートリーダーは主に、①課題リーダー、②社会的リーダー、③動機づけリーダー、④外的リーダーの4つの役割を担うとされています。図1に役割と内容を示したので、自分のチームを思い浮かべながら照らし合わせてみてください。

このようにアスリートリーダーには4つの役割がありますが、はたして1人のリーダーが全ての役割を担っているのでしょうか。実際のところチームにおいて4つの役割を1人で全うしていることは、ほとんどありません。チーム内には複数の公式・非公式リーダーがおり、役割を複数人で担当し共有することで、チーム機能にポジティブな影響を与える可能性が報告されています¹⁾。

【まとめ】

各チームにおけるアスリートリーダーの役割は様々あり、公式・非公式に関わらずチーム内で共有することが望まれるため、選手は各自どのような役割でチームに貢献できるか考えてみましょう。指導者は多くの選手が積極的にリーダーとして行動できるような声掛けや雰囲気づくりを意識してみてはいかがでしょうか。新年度が始まる前にチーム内の役割を見直す参考にしてみてください。

【主要参考文献】

- 1) Fransen,K.,Vanbeselaere,N., De Cuyper,B., Vande Broek,G&Boen.F. (2014) The myth of the team captain as principal leader: Extending the athlete leadership classification within sport teams. Journal of Sports Science, 32, 1389-1397.
- 2) 小管(町田) 萌 (2023) リーダーシップ. 日本スポーツ心理学会編, スポーツ心理学の挑戦-その広がりと深まり. 大修館書店, 18-27.